

Active

我孫子市立湖北小学校

研推だより

2025.7.1 No.6

発行者 菅家

今回のテーマ:第1回 校内授業研究会の振り返り

6月26日(木)に第1回目、2年生と3年生の授業研が終了しました。先生方、お忙しい中ありがとうございました。協議会で出た意見や津軽先生、大岡先生からご指導いただいたことを共有したいと思います。今回の授業研について、振り返っていきます。目を通していただけたら、嬉しいです。

<2年2組 萩原学級> 『水のかさをはかってあらわそう』

本時は、1dLますを使って、身の回りにある入れ物に入る水の体積をはかるという活動でした。

協議会での意見まとめ

○子どもたちががんばって取り組もうとしていた!

○まとめで、「dLのよさがわかった?」に対する子どもたちの反応をよくするために、子どもたちが実際に触れているもので「1dLってどれくらい?」を考えさせてもよかったです。

○発表の仕方を工夫し、まとめや振り返りの時間、次時へのつながり時間の確保を。

○水のはかり方の統一を。

大岡先生からのご指導

・導入がすばらしい!!

・視覚的な掲示◎→色つきの水、ワークシート、dLますの写真

・系統の意識◎

・振り返りの書かせ方→見取りたい視点を与えること、本時なら「dLについて思ったことを書いて」など。

・まとめが自分で作れる子を育てよう!!



<評価について>

児童 学習したことの意義や価値を実感するもの

教師 指導の改善や意欲の向上を図るもの



<自らの学習を調整、粘り強い取り組みを行おうとするの2つの側面から>

調整

①既習を活用した見通しを立てる。

②振り返り、よりよい解法について考え、自分の解き方や考え方を修正したり、改善したりしようとする。

粘り強く

①わからない問題も、これまで学習したことを活用して考える。

②1つの問題に対して、いろいろな解き方を考える。

③式や答え、考え方を見直している。

<3年1組 大野学級> 『生き物新聞』 「めだか」

本時は、キャンディーチャートを使って、めだかの体の特長をまとめる活動でした。

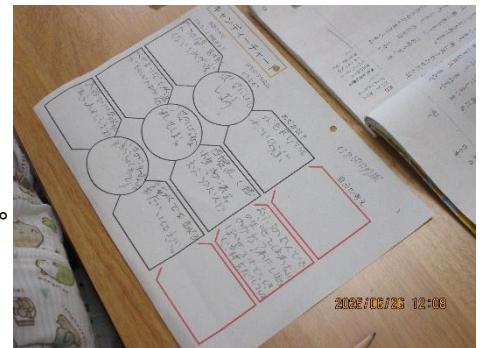
協議会での意見まとめ

- 思考ツールは子どもたちの意欲を高めていた。
- 先生の主体性◎→子どもたちも前向きに!!!
- 本文に書かれていないことを想像するのが難しそうだった。
- ワークシートの工夫、低位の子への手立て→一番右側の枠だけうめてあげる等



津輕先生からのご指導

- ・単元計画に、単元でつけたい資質・能力を明記しましょう。(授業で毎回確認を!)
- ・学習の環境が素晴らしい!
- ・めだかに関する本を並行読書してもよい。
- ・キャンディーチャート、効果的だった。どのツールの使い方も◎
- ・ワークシートの枠のせまさがちょうどいい。要約しなければ書けない。
- ・言葉の意味を度々確認していたのが◎
- ・授業の中で、子どもたちに自己決定の場を与えることが大事!
- ・教師↔子どものやりとりではなく、子ども↔子どものやりとりの時間も確保するべき。



<この授業を経て、主体性を育てるために…>

- ①思考ツールを学ぶ ← 今回はここ
- ②思考ツールを選んでできるようにする。
- ③自分から思考ツールを使えるようにする(今日の学習では、このツールが使えそう!という考えられる)

目指すはここ！！！

萩原先生、大野先生の授業について、講師の先生方お2人とも「素晴らしい授業を見させていただいてありがとうございました。」とお話されていました。また、2学級とも「子どもたちが安心できる学級経営」ができているとおっしゃっていました。日々、子どもたちが落ち着いて学ぶためには、「安心できる学級づくり」が重要です。学級が良い雰囲気であることが、「協働的な学び・個別最適な学び」を行うためにも大前提となります。

津輕先生のご指導の中にあった「子どもたちが主役の授業」をつくれるように、日々の学級経営にも力を入れていきたいなと思いました。

萩原先生・小山先生・大野先生・佐々木先生 おつかれ様でした！！

職員会議でお話させていただいた「ループリック評価」について、夏休みに研修を行います。2学期は、各学年で国語・算数それぞれで重点単元を決めて取り組みます。9月の授業研(5,6年)より取り入れていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします!!!